

7月19日(日)①10:30 ②13:10 ③15:50 ④18:30 ●徳島市シビックセンターさくらホール

私たちは、ずっとここにいた。

BLUEBOY

知られざる歴史がここにある。

ブルーボーイ事件

中川未悠 主演 山本 安藤 山 錦戸 亮 加藤 亮 加藤 亮 加藤 亮

原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙

原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙 原田 謙

©2018 JUNE 11. All Rights Reserved.

期待の新鋭飯塚花笑監督のオリジナル企画を、数多くのヒット作を手がける遠藤日登思プロデューサーが惚れ込み映画化を決意。

企画の「核」としての当事者キャスティング。オーディションで選ばれた、トランスジェンダー女性たちがメインキャストを演じ、日本映画界に一石を投じる。



東京オリンピック、大阪万博に沸いた頃の日本でその事件は起きた。

この事件の裁判では、ある人間の《幸せか不幸か》が争点となり延々と議論された。

そんな裁判は後にも先にも存在しない。知られざるトランスジェンダーの歴史がここにある。

これは事実にもとづく物語。

1960年代の日本で「性適合手術」が、違法か合法かを争った事件があった。

1965年、オリンピック景気に沸く東京で、街の浄化を目指す警察は、街に立つセックスワーカーたちを厳しく取り締まっていた。ただし、ブルーボーイと呼ばれる、性別適合手術（*当時の呼称は性転換手術）を受け、身体の特徴を女性的に変えた者たちの存在が警察の頭を悩ませていた。

戸籍は男性のまま、女性として売春をする彼女たちは、現行の売春防止法では摘発対象にはならない。そこで彼らが目をつけたのが性別適合手術だった。

警察は、生殖を不能にする手術は「優生保護法」（*現在は母体保護法に改正）に違反するとして、ブルーボーイたちに手術を行っていた医師の赤城（山中 崇）を逮捕し、裁判にかける。

同じ頃、東京の喫茶店で働く女性サチ（中川未悠）は、恋人の若村（前原 滉）からプロポーズを受け、幸せを噛み締めていた。そんなある日、弁護士の狩野（錦戸 亮）がサチのもとを訪れる。実はサチは、赤城のもとで性別適合手術を行った患者のひとり。

赤城の弁護を引き受けた狩野は、証人としてサチに出廷してほしいと依頼する。



徳島の映画館で見られないアート系の映画を中心に、毎月1回上映会を開催。

会員は、世界各国のすぐれた作品を鑑賞できます。入会金1000円 会費(1か月)1000円

徳島でみれない映画をみる会事務局

Tel088-631-5847

Fax088-631-5848 徳島市北田宮2丁目6-37

